

小田地区 防災まちづくり懇談会 ニュース

令和元年8月発行

第2回「防災まちづくり懇談会」を開催しました！

第2回「防災まちづくり懇談会」概要

日時：令和元年 7月17日（水）19:00～20:30

場所：田島中学校 特別活動室

- 内容：① 今後の防災まちづくり懇談会の進め方について
 ② 小田地区の実態について（まち歩きで感じたこと）
 ③ 意見交換（小田地区の実態・小田の特徴等）

参加者：小田地区町内会連合会・小田1丁目町会より20名



会場の様子

① 今後の防災まちづくり懇談会の進め方について

これまでの懇談会では、小田のまちにおける様々な課題についての意見交換やまち歩きを行い、まちの状況や課題を共有してきました。今後は、小田の「まちづくり」について意見を出し合い、また、実現させるための方策を検討しながら、住民の皆さんからの意見や提案を市と共有して行きます。

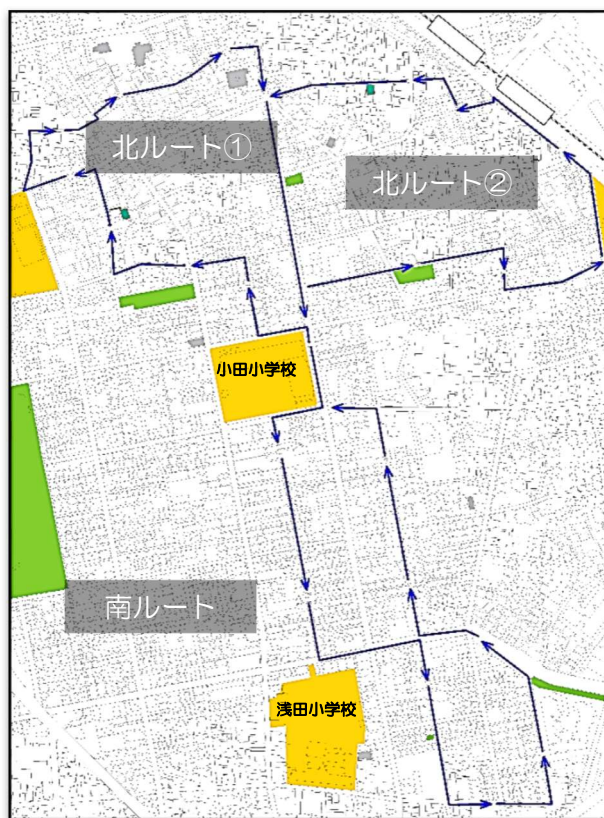
② 小田地区の実態について

各ルートでの共通の意見

- ・狭い道沿いに古い建物が建ち並んでいる
- ・老朽化した戸建、アパート（木造）が多い。
- ・空家が増えてきている

北ルート①で出た意見

- ・一方通行が多い。
- ・狭い道だが相互通行になっている。
- ・緊急車両が入れない。



北ルート②で出た意見

- ・浸水（膝下）の被害がある
- ・小田栄踏切周辺の安全性が心配だ。
- ・狭い道だが相互通行になっている。

南ルートで出た意見

- ・狭い道にブロック塀が多い。
- ・公園等の住民が憩える場所や一時避難場所など避難が出来る空間が少ない。
- ・避難路が確保されていない。
- ・ワンルームマンションが多い。

③ 意見交換(小田地区の現状で感じること等)

小田地区についての話し合いで出た主な意見

A～D の4つのグループに分かれて意見交換、その後グループごとに発表



Aグループ

- ・道路に関しても、狭く袋小路になっている箇所が多い。
- ・小田栄駅が出来て、交通の利便性が良くなった。
- ・高齢化が進み、多世代間のつながりが少なくなった。住民同士がつながる接点となる場が必要である。



Bグループ

- ・公園が少ない、低利用の広い土地を公園として使用したい。
- ・道が狭くゴミ収集の場所がない箇所がある。（遠いところにゴミ出しをしている。）
- ・地域で決まりごとを作っていきたい。



Cグループ

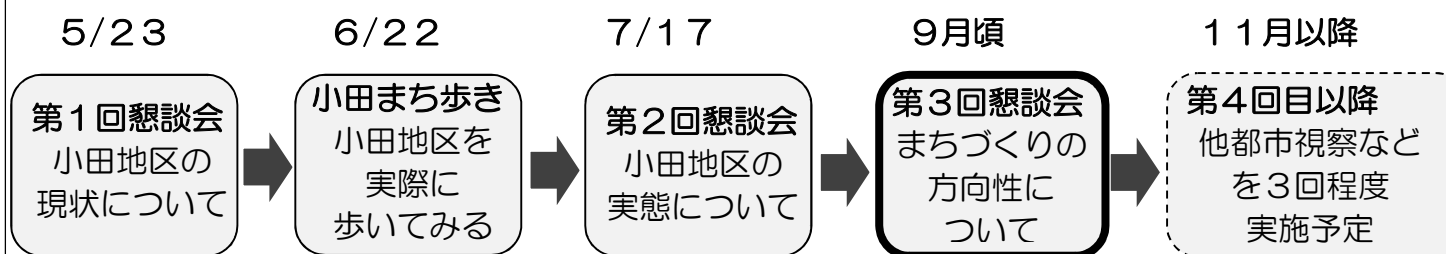
- ・防災空地の確保が必要である。
- ・ずっと小田地区に住み続けたい。次の世代も住んで欲しい。
- ・地主などの協力も必要である。
- ・住民である我々から行政に働きかけないといつまでも変わらない。



Dグループ

- ・避難場所（東小田小学校）までの道が狭いので拡幅すべき。
- ・京町3や浅田は街区が綺麗に整備されている。
- ・緊急車両が通行できるように隅切り等を計画的に整備すべき。

今後の防災まちづくり懇談会予定



次回以降開催する防災まちづくり懇談会にご興味のある方は下記の連絡先へご一報ください。